

サーサナ

第15号 仏暦2554（西暦2011）年6月1日

自然と私たち

人間は偉いものではない、
尊いものではない、
安田理深

「おらたち人間は自然から命をいただいております」という、ACジャパン（公共広告機構）のコマーシャルは、いやでも覚えてしまった、という人も多いでしょう。これが平生の時だったらあまり気にも留めなかったでしょうが、東日本大震災直後でしたから、私としては「ふーむ」と考えざるをえませんでした。というのは、ACジャパンのメッセージは、「人間は自然に生かされている、自然に感謝しましょう」という、日本人にはなじみの発想にもとづいているにもかかわらず、あの災害は、他ならぬその自然によって多くの人間の命が奪われたことを意味するからです。

自然は私たち人間にとって味方であるのか敵であるのか。

地震も津波も、神罰ではなく、自然の現象です。自然に感謝する、ということは、自然の災害にも感謝する、ということになるはず。ところが、私たちは都合のよいことには感謝するけれども、都合の悪いことには「自然は怖い」のひと言で済ませがちになります。私たちは、今まであまりにも自然に甘えすぎてきたのかも知れません。「自然の力は恐ろしい」ということを、きっちりと理解すべきなのでしょう。

原子力はしばしば「プロメテウスの火」にたとえられます。ギリシャ神話に登場するプロメテウスは神々の世界の火をひそかに人類に伝え、そのことを怒ったゼウスから罰として永遠の苦しみを受けることになりました。この原子力もまた自然の一部である、とはっきり知らねばなりません。原子力発電に使われる核燃料はもともとは天然鉱石なのです。

人間は自然を創造することはできませんし、思い通りに制御することもできません。思い上がり捨てざるべき時です。

法要行事のご案内

各法要・行事に必要な勤行本は、お持ちでない場合は当寺より進呈または貸与いたします。

六月 帰敬式（おかみそり）

帰敬式は、仏弟子としての名のりである法名をいただく儀式です。法名は死んでから、と思われがちですが、そうではなく、本来は生前に授かっておくべきものです。キリスト教で洗礼名がキリスト教徒の証しであるのと同様に、法名を授かることは仏門に帰依したことの大切な証しで、これを受式することにより正式な仏教徒（真宗門徒）となります。

- *日時 6月28日（火）午前11時～正午
- *受式費用 20,000円（うち10,000円は本山礼金）
- *先着順にお申込を受け付けます。6月15日締切り。定員は10名です。
- *事前説明会を受けていただきます。6月19日（日）午後1時から3時です。
- *お斎（昼食）接待および記念品があります。
- *法名に希望の文字があれば、御相談に応じます。

八月 盂蘭盆会（うらぼんえ、お盆）

- *日時 8月13日（土）午前8時～9時
- *内容 勤行（和訳阿弥陀経、正信偈同朋奉讃）、法話（住職）
- *持ち物 勤行本（『抄訳佛説阿弥陀経』『正信偈同朋奉讃』）、念珠、肩衣（お持ちの方）、お布施、
- *記念施本 『いのちを奪う原発』（東本願寺）

盂蘭盆会について個別（家族単位）でのお勤めを御希望の場合は、次のいずれかにより予約して下さい。お経は「阿弥陀経」（音読）です。

1. 本堂でのお勤め

8月14日午前。15分刻みで御希望の時間を指定していただきます。先着順です。十六家族様まで。

2. 家庭の御内仏前でのお勤め

(1)13日午後、(2)13日夜、(3)14日午後、(4)14日夜、(5)15日午後、のいずれかの時間枠をご指定下さい。午後とは1時から4時まで、夜とは5時から8時までをいいます。これ以外の日時は応相談。

法務休暇等のお知らせ

下記の期日を法務休暇とさせていただきます。

●7月3～4日 ●8月1～2日 ●8月17～21日

本堂にて下記のとおり一座読経（総経）いたしますので、ご参拝下さい。なお、忌日に相当しない場合でも、ご自由に参拝していただけます。

○7月2日午後5時 ○7月30日午後4時 ○8月16日午後1時

東日本大震災支援金お礼

5月20日現在、135名の方々より、総計345,000円の支援金が寄せられました。厚くお礼を申し上げます。この支援金は、本山・東本願寺をとおして、被災地の方々へと送られます。

清掃奉仕・おみがき奉仕

皆様方のご奉仕をお願いしております。主として、境内の草取りと仏具の研磨です。終了後はお茶とお菓子でおくつろぎ下さい。

7月12日（火） 午後3時から5時

9月12日（月） 午後3時から5時

高齢の方には研磨（おみがき）を、比較的若い方には草取りをお願いします。雨天の場合は、研磨のみになります。

永代経懇志お礼

下記の方々から永代経懇志を頂戴いたしました。ここにあらためてお礼申し上げますと共に、今後とも法義相続されますことをお願いいたします。

4月3日 釋尼聡慧（願主・和久井様[天白区御前場]、10万円）

映画「手塚治虫のブッダ ー赤い砂漠よ！美しくー」

5月28日から全国ロードショーが始まりました。特別鑑賞券（1000円）が数枚残っていますので、希望者に頒布します。名古屋と日進での上映館は次のとおり：名古屋ピカデリー、109シネマズ、イオンシネマワンダー、TOHOシネマズ、ワーナーマイカル大高、中川コロナワールド、MOVIX三好

名古屋教区の行事案内

暁天講座

8月1日～5日 午前6時15分～8時 東別院本堂

はやおき鳥

8月1日～5日 午前6時15分～8時 対面所

真夏の早朝に開かれる講座です。仏教に限らず、様々な分野で活躍される方々がお話されます。聴講された方には、パンと牛乳を、皆勤の方には、報恩講のお斎券を進呈しています。対面所では、子どもたちを対象とした学習会「はやおき鳥」が開かれます。

☆仏事Q&A☆

Q：「般若心経」はどの宗派でも共通のお経だと聞きました。私も毎日「般若心経」をお仏壇であげたいと思いますが、いいですか？

A：般若心経はどの宗派でも共通、というのはウソです。日蓮宗と浄土真宗では、儀式で用いられることはありません。

Q：では「般若心経」をあげてはいけない、ということですか？

A：それはだれかが許可したり禁止したりするものではないでしょう。良いか悪いか、ではなく、何が大切かが問題なのです。真宗門徒にとって肝心なことは、浄土へ往生できるようになることです。そしてそのために、念仏と聞法を欠かさぬことです。そもそも般若心経は空の思想を説く經典で、浄土往生を説く經典ではありません。阿弥陀様を前にして般若心経では場違いだと思います。空の思想は仏教の基本ですが、真宗門徒はそれを經文ではなく、念仏をとおして自ずと体得するのです。

Q：ではどんなお経をあげればいいでしょう？

A：厳密には「お経」ではありませんが、お勤めでは「正信偈」「和讃」が基本です。あるいは嘆仏偈とか、三誓偈とか、阿弥陀經とか... いずれにしても、まずは念仏、つまり「南無阿弥陀仏」と声に出して（不可能な場合は心の中で）唱えることです。

真宗大谷派 教心寺（名古屋教区第30組）

編集発行人 釋眞弑（山口眞一）

468-0026 名古屋市天白区土原3丁目205番地

電話：801-1381 F A X：807-1198 電子メール：kyosin@nagoya30.net

URL <http://www.nagoya30.net/temple/kyosin/>